

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-30℃ ~ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-30℃ ~ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	75Ω (0 ~ 2 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	1.5G-QEV, 1.5G-QEV, CW (フジクラ)	
性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗 ①	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 11 mΩ以下 外部コネクタ 3 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC 750Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 ①	周波数 0.045 ~ 2 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—
	挿入損失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
	機 械 的 性 能	単体挿抜力 (外部コネクタ)	φ3.45 ⁰ _{-0.005} の鋼製リングで測定する。	差込力 N以下 引抜力 0.8 N以上	—
総合挿抜力		適合コネクタで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
繰り返し動作 ①		500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 17 mΩ以下 外部コネクタ 6 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 振 性 ①		周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 衝 撃 性 ①		加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		49 N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	○	—
温湿度サイクルの 耐湿性		温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 80 ~ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -30 → — → +85 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考 RoHS適合品			承認	IJ.MITANI	06.09.26
注 ① P021M-6P-SA (CL330-0305-4) に組み込んだ状態で 試験を行います。			検 図	KY.SHIMIZU	06.09.26
2. 使用温度範囲はケーブルの使用温度範囲によります。			担 当	TO.KATAYAMA	06.09.26
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			製 図	YK.SUGIYAMA	06.09.26
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC4-136397-40		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	P082M-P-1.5G (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL330-0350-9-40	△ 1/1